

# 活用上の留意点

## 1 年間活用計画例の利用に当たって

色の付いた文字の部分副読本の資料名で、章別に色分けしています。色のない部分は想定される行事等で、年2回の復興プロジェクトと年3回の避難訓練が書き込まれています。

年間活用計画例は、参考として示したものですから、学校の実態によって資料の実施学年や実施時期、取り扱う教科・領域等に変更を加えてください。その場合は、教師用手引き通りの展開は難しいと思われるので、発達段階や教科・領域の特性に応じ、指導方法をアレンジして実施する必要があります。

## 2 教師用指導資料の活用について

### ■ 教師用手引きについて

どれも、年間活用計画例の位置づけに基づいて作成されています。必要な部分をダウンロードし、ねらいや授業の流れ、留意点を確認してから授業に臨んでください。6章の「資料」は、他の資料と併用して随時活用する他に、年度末のまとめ学習としての展開例（1時間扱い）を掲載しています。

### ■ ワークシートについて

全資料には、授業で活用できるワークシートを示しています。Word 様式で載せていますので、ねらいや実態に応じて、使いやすいように加工した上で利用することも可能です。

## 3 心のケアへの配慮について

防災副読本を使った学習においては、津波による被災を体験している児童生徒や、被災地からの転校生などの存在に十分留意するとともに、心のケアの観点から心身の健康状態が懸念される場合は、資料の取扱いを変更する等の配慮をしてください。特に1章の被害写真や3章の地震・津波に関する内容を扱う際は、児童生徒の状況に応じた柔軟な対応が必要とされます。

## 4 その他

- ・ 「資料の概要一覧」は、副読本の概略を理解したり、自校の指導計画を作ったりする時の参考として活用ください。
- ・ 指導資料を閲覧するにはパスワードが必要です。各校に文書通知されていますので、ご確認ください。なお、掲載されているデータの著作権は仙台市教育委員会に帰属しますが、学校独自で修正・改善した資料の著作権は、当該校に帰属します。

新防災教育副読本は、先生方の声を反映させながら毎年度改訂を加えていきます。副読本を読んだり副読本を用いた授業を行ったりしての感想や意見を、教育センターまでぜひお寄せください。 [bousai-h@sendai-c.ed.jp](mailto:bousai-h@sendai-c.ed.jp)